



K.G.H. REVIEW

部長メッセージ

わたしは魂を沈黙させます 高等部長 枝川豊



今年度の主題聖句は「わたしは魂を沈黙させます」です。この一学期、皆さんは自分の魂を沈黙させる時、場所があったでしょうか。

私たちは日々、様々な音に囲まれて生活を送っています。それは心地よい音であったり、耳障りな音、雑音であったりもします。通学時にはイヤフォンをつけて音楽を聴きながら登校している人をよく見かけます。試合前などにリラックスする、あるいは集中力を高めるために音楽を聴くスポーツ選手も多いです。

しかし、本当にしっかりと自然の営みに、自分に、そして神様に向き合うには静寂な空間と時間が必要です。「魂を沈黙」させ、自己の内面との対話をするには、まさに沈黙を守るための空間と時間が必要になるのです。そして、それらが備わっているのが礼拝堂であり、礼拝の時間です。皆さんの学び舎にはそれらが整っています。

高等部生が一堂に会する礼拝堂で、礼拝の時間に皆さん

は「沈黙」を作ることができただでしょうか。「魂を沈黙」させることにより、自らを振り返り、立ち止まって考えることができる。だからこそ今年度は「沈黙」を大切にしようとして私たちが皆さんに呼びかけているのです。

「図書春秋」にも書きましたが、「立ち止まって少し考える」ことはとても重要なことですが、簡単なようで、時間と動きの速い社会では難しいことでもあります。しかし、皆さんも知る、あのアメリカンフットボールの試合で起こったこと、立ち止まって少し考える「魂を沈黙させる」ことのできる社会を維持しなければなら

らないと強く感じます。夏休みはクラブ活動を始める忙しい時期ですが、豊かな自由な時間もあります。一日の中でわずかな時間でも意識して「沈黙」の時を守ってください。そして、自分の成長のために時間をたっぷり使おうと同時に、ぜひ自分が常日頃あまり意識をしていない世界との関わりを持つ時間も作ってください。関西学院高等部に学ぶ君たちは、きっと新しい関わりにチャレンジしてくれることと思います。

時間のある夏休みを有意義に過ごし、高等部生としてよ

OD (Bring Your Own Device) の形を取っている。昨年度より、教室に無線LAN・Apple TV・プロジェクター・ホワイトボードの導入が開始され、いよいよ始まったという感じである。

入学式の日、H.R.にて配布されたウキウキしながら開封し、慣れた手つきで初期設定を行う姿が印象的であった。

あくまでも文房具の一つとしてのiPadという位置付けであり、使用する授業、しない授業、用いるアプリも様々である。求められる学力が変わりつつある今、新たな教育に教師と生徒で取り組んでいる。

また、自由と自治を掲げる高等部の良さを活かすべく、ある程度ゆるいルールの中で使用している。ゲームダウンロード可(スクールアワー中は使用禁止)、個人Apple ID作成可(App内課金は不可設定)、Youtube視聴可(フィルタリングあり)などである。その中で、教師から押し付けられたルールの上で使用するのはなく、自分たちで運用について考えて欲しいという思いからICT委員会を立ち上げた。一年生各クラス二名、計十八名で構成される。最初の議題は「プロジェクターの

報告とします。

(宗教主事 松隈 協)

先生は「人間は大したものではないが、かけがえのない存在であり、私たちは、大したものではないとかけがえがないという二つの矛盾を抱えながら生きている」と言われました。ここには自己肯定感をもつことに加えて、キリスト教のゆるしの精神がうかがえます。先生が「沈黙のない音と、光りなく影がない世界の同じだ」と言われたように、私たちの中には、誰一人「アクティブ・ラーニング」として必要のない人などいないのだから、ありのままに生きようと思えました。自己肯定感とゆるし、このことが、右往左往状態である。何か新しいことを始めるとき、教育現場はつねに右往左往する。

そんなことは許されない。そんなことを許さず、しっかりと計画を立て、しかるべき展望が見えるまで検討し、新しい制度は導入すべきだ。でなければ生徒がかわいそうだ。そんな声が聞こえてきそうである。

しかし、現場のわれわれはそれが不可能なことを知っている。真の教育改革を完璧に実現しようとすれば、学校教育を一時停止して、すべてを分たちの「弱さ」を見直し、「One」を体現し、「日本」に相応しいチームとなるべく日々精進したい。

(主務 中岡 怜花)



今年度の主題聖句は「わたしは魂を沈黙させます」です。この一学期、皆さんは自分の魂を沈黙させる時、場所があったでしょうか。

私たちは日々、様々な音に囲まれて生活を送っています。それは心地よい音であったり、耳障りな音、雑音であったりもします。通学時にはイヤフォンをつけて音楽を聴きながら登校している人をよく見かけます。試合前などにリラックスする、あるいは集中力を高めるために音楽を聴くスポーツ選手も多いです。

しかし、本当にしっかりと自然の営みに、自分に、そして神様に向き合うには静寂な空間と時間が必要です。「魂を沈黙」させ、自己の内面との対話をするには、まさに沈黙を守るための空間と時間が必要になるのです。そして、それらが備わっているのが礼拝堂であり、礼拝の時間です。皆さんの学び舎にはそれらが整っています。

高等部生が一堂に会する礼拝堂で、礼拝の時間に皆さん

サッカー U16 女子 日本代表 1年生 高和 芹夏

四月二十五日から五月一日までサッカーU16日本女子代表として、欧州遠征メンバーに選ばれました。

目標としていた代表に選ばれ、とても嬉しかったです。海外の選手相手にどこまで自分が通用するか、楽しみもあり不安もありました。

代表メンバーでの二日間の練習の後、イタリアで開催されたデルナツィオニートーナメントに参加しました。

試合結果は、イングランドに、二―一で勝利、ロシアに〇―〇で引き分け、ノルウェ

は「沈黙」を作ることができただでしょうか。「魂を沈黙」させることにより、自らを振り返り、立ち止まって考えることができる。だからこそ今年度は「沈黙」を大切にしようとして私たちが皆さんに呼びかけているのです。

「図書春秋」にも書きましたが、「立ち止まって少し考える」ことはとても重要なことですが、簡単なようで、時間と動きの速い社会では難しいことでもあります。しかし、皆さんも知る、あのアメリカンフットボールの試合で起こったこと、立ち止まって少し考える「魂を沈黙させる」ことのできる社会を維持しなければなら

差で競り勝つことができたのは、熱い仲間たちの応援が僕の背中を力強く押ししてくれたのだと感じています。これからも大きな大会が続く中、さらに仲間の力にも助けられながら一つでも上の順位を取ることができるよう、全力で頑張ります。

これからも、陸上部の試合はまだまだまだ続きますので、応援よろしくお願いします。

陸上競技部 県男子200m 優勝 2年生 横山 修大

第六十二回兵庫県高等学校総合陸上大会が五月二十五日(二十七日の三日間あり、神戸ユニバー記念競技場で行われ、二十六日の二〇〇メートル走では二年横山修大君が関学勢五年ぶりの優勝を成し遂げました。

横山君はこう答えています

今年度の春季宗教運動は、五月二十一日(月)から五月二十五日(金)まで「建学の精神」関西学院の「建学の精神」をテーマに開かれました。高一学年礼拝に大宮有博先生(題「Servant Leadership」)、高二学年礼拝に井上智先生(題「限界に気づく」)、高三学年礼拝に小見のぞみ先生(題「しかし、わたしは愛をもたないならば」)、全校礼拝に元風川学院中学校・高等学校宗教主事である川原田玲子先生(題「人命」)を講師としてお招きしました。ここでは、生徒の全校礼拝の感想の一部を記し、

一人一台 iPad活用 始まる

二〇一八年度入学生より一人一台iPadを購入してもらい、授業や行事で活用している。学校からの貸し出しではなく、個人の持ち物として購入し利用する、いわゆるBYOD(Bring Your Own Device)の形を取っている。昨年度より、教室に無線LAN・Apple TV・プロジェクター・ホワイトボードの導入が開始され、いよいよ始まったという感じである。

入学式の日、H.R.にて配布されたウキウキしながら開封し、慣れた手つきで初期設定を行う姿が印象的であった。

あくまでも文房具の一つとしてのiPadという位置付けであり、使用する授業、しない授業、用いるアプリも様々である。求められる学力が変わりつつある今、新たな教育に教師と生徒で取り組んでいる。

また、自由と自治を掲げる高等部の良さを活かすべく、ある程度ゆるいルールの中で使用している。ゲームダウンロード可(スクールアワー中は使用禁止)、個人Apple ID作成可(App内課金は不可設定)、Youtube視聴可(フィルタリングあり)などである。その中で、教師から押し付けられたルールの上で使用するのはなく、自分たちで運用について考えて欲しいという思いからICT委員会を立ち上げた。一年生各クラス二名、計十八名で構成される。最初の議題は「プロジェクターの

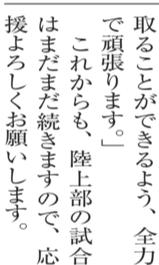
アメリカンフットボール部 関西大会準優勝

我々二〇一八年度アメリカンフットボール部は、三年ぶりの「日本二」を果たすため、「One」というスローガンを掲げ春季大会に臨んだ。県大会では、決勝トーナメントにAブロック一位で通過し、準決勝 市立西宮高校に三七―二で勝利、初戦シード・二回戦は昨年敗れた立命館宇治高校に二六―一六で勝利リベンジを晴らした。続く準決勝では今シーズン初めてリードを許す展開となったが、昨年度関西チャンピオンの関大一高に二八―一四で勝つものの、決勝 高槻高校に二六―三二で敗れ、関西大会準優勝となった。こ

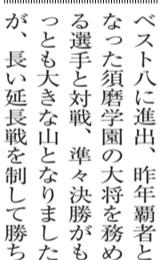
そのためには必要なことは、教師たちの資質への信頼と、生徒とご家庭の学校に対する理解と信頼である。まあなんとかなるやろ。やいながら考えよ。これがこの一年生を抱えた高等部の実感である。いい生徒といご家庭に恵まれたの右往左往である。お楽しみあれ。



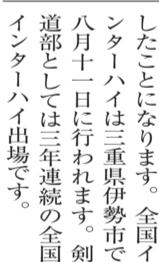
今年度の春季宗教運動は、五月二十一日(月)から五月二十五日(金)まで「建学の精神」関西学院の「建学の精神」をテーマに開かれました。高一学年礼拝に大宮有博先生(題「Servant Leadership」)、高二学年礼拝に井上智先生(題「限界に気づく」)、高三学年礼拝に小見のぞみ先生(題「しかし、わたしは愛をもたないならば」)、全校礼拝に元風川学院中学校・高等学校宗教主事である川原田玲子先生(題「人命」)を講師としてお招きしました。ここでは、生徒の全校礼拝の感想の一部を記し、



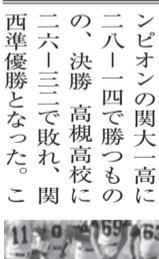
今年度の春季宗教運動は、五月二十一日(月)から五月二十五日(金)まで「建学の精神」関西学院の「建学の精神」をテーマに開かれました。高一学年礼拝に大宮有博先生(題「Servant Leadership」)、高二学年礼拝に井上智先生(題「限界に気づく」)、高三学年礼拝に小見のぞみ先生(題「しかし、わたしは愛をもたないならば」)、全校礼拝に元風川学院中学校・高等学校宗教主事である川原田玲子先生(題「人命」)を講師としてお招きしました。ここでは、生徒の全校礼拝の感想の一部を記し、



今年度の春季宗教運動は、五月二十一日(月)から五月二十五日(金)まで「建学の精神」関西学院の「建学の精神」をテーマに開かれました。高一学年礼拝に大宮有博先生(題「Servant Leadership」)、高二学年礼拝に井上智先生(題「限界に気づく」)、高三学年礼拝に小見のぞみ先生(題「しかし、わたしは愛をもたないならば」)、全校礼拝に元風川学院中学校・高等学校宗教主事である川原田玲子先生(題「人命」)を講師としてお招きしました。ここでは、生徒の全校礼拝の感想の一部を記し、



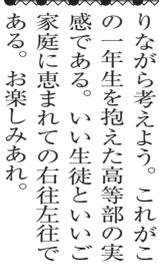
今年度の春季宗教運動は、五月二十一日(月)から五月二十五日(金)まで「建学の精神」関西学院の「建学の精神」をテーマに開かれました。高一学年礼拝に大宮有博先生(題「Servant Leadership」)、高二学年礼拝に井上智先生(題「限界に気づく」)、高三学年礼拝に小見のぞみ先生(題「しかし、わたしは愛をもたないならば」)、全校礼拝に元風川学院中学校・高等学校宗教主事である川原田玲子先生(題「人命」)を講師としてお招きしました。ここでは、生徒の全校礼拝の感想の一部を記し、



今年度の春季宗教運動は、五月二十一日(月)から五月二十五日(金)まで「建学の精神」関西学院の「建学の精神」をテーマに開かれました。高一学年礼拝に大宮有博先生(題「Servant Leadership」)、高二学年礼拝に井上智先生(題「限界に気づく」)、高三学年礼拝に小見のぞみ先生(題「しかし、わたしは愛をもたないならば」)、全校礼拝に元風川学院中学校・高等学校宗教主事である川原田玲子先生(題「人命」)を講師としてお招きしました。ここでは、生徒の全校礼拝の感想の一部を記し、



今年度の春季宗教運動は、五月二十一日(月)から五月二十五日(金)まで「建学の精神」関西学院の「建学の精神」をテーマに開かれました。高一学年礼拝に大宮有博先生(題「Servant Leadership」)、高二学年礼拝に井上智先生(題「限界に気づく」)、高三学年礼拝に小見のぞみ先生(題「しかし、わたしは愛をもたないならば」)、全校礼拝に元風川学院中学校・高等学校宗教主事である川原田玲子先生(題「人命」)を講師としてお招きしました。ここでは、生徒の全校礼拝の感想の一部を記し、



今年度の春季宗教運動は、五月二十一日(月)から五月二十五日(金)まで「建学の精神」関西学院の「建学の精神」をテーマに開かれました。高一学年礼拝に大宮有博先生(題「Servant Leadership」)、高二学年礼拝に井上智先生(題「限界に気づく」)、高三学年礼拝に小見のぞみ先生(題「しかし、わたしは愛をもたないならば」)、全校礼拝に元風川学院中学校・高等学校宗教主事である川原田玲子先生(題「人命」)を講師としてお招きしました。ここでは、生徒の全校礼拝の感想の一部を記し、

学友会総会

二〇一八年度の学友会総会は六月十九日(火)に行われました。学友会総会とは、関西学院高等部に通う生徒が、各クラスの代表であるコミッティーを通して挙げた、学校の仕組みの改善してほしい点について九十分間話し合い、賛成・反対を投票によって決定する重要な集会です。ここで全体の意見として賛成であれば、教師会にあげることができ、意見が通れば学校で実現に向けた活動が行われます。

まず、要するに学友会総会とは、生徒の意見を直接反映させることのできる一年に一回のチャンスなのです。この学友会総会は学友会全体で行われ、今年度はコミッティーや各委員会の人たちに協力いただき、無事に運営することができました。

改善案が出されたり、賛成・反対の意見がたくさんあがるなど白熱した議論が繰り広げられました。これは生徒全員が投票する前に議案についてよく考えていた時間と言え、とてもよかったです。

また、今回の学友会総会では運営側にも新しい試みがありました。それは、iPadを使った投票です。今までは紙に書いての投票だったために開票作業にとても時間がかかり、スムーズに情報処理ができなかったことから今回の挑戦に至りました。初めは学友会役員がiPadで生徒人数分の投票を行い、エラーが起らないかどうかを確認して先生から承認を頂きました。私

たちもiPadを使うことに対し「本当に失敗しないか」と不安に感じていましたが、iPadを使っている投票はトラブルが発生することなく終了し、開票作業も無事に完了しました。今は役員全員がホッとしています。

第一号議案の結果は、賛成が八四九票・反対が一九三票・白票が七二票。第二号議案の結果は、賛成が九一三票・反対が四四六票・白票が五四四票、第三号議案の結果は、賛成が七〇三票・反対が三五六票・白票が五四四票でした。

以上により三つの議案全てが可決されました。皆さんのご理解と協力、ありがとうございました。

一年G組 王 厳毅 Logan Fulloda
一年I組 森澤 一充

2018年度学友会スローガン

二〇一八年度の学友会のスローガンは、「努力あきらめなく Challenge for Change」です。「努力(ゆめゆめ)」という文字は、「決して」という意味を持つ、打ち消しつながら言葉です。努力という言葉に注目していただき、努力の「努」を二乗することにより、「私たち一人一人の努力が絶対に」

「努力になる」という想いや、「努力することを諦めない」という意味を込めています。Challenge for changeは「変わることに諦めない」というそのまの意味です。関西学院高等部は今年で共学化二年目となりました。男子校として歴史のある学校として、これからは共学校としての歴史を刻んでいきます。男子校であった高等部と比較すると、変わった部分が多いかも知れません。ですがわたしたちはなにもかもあきらめず、変わることには挑戦し続け、一年間学友会本部として活動していきます。

インドネシアハラバン高校来日
GLPで連携しているインドネシアのハラバン高校から生徒・教員十二名が来日しました。六月十五日に高等部を訪問し、生徒と一緒に授業を体験し、歓迎式典ではバリダンスを披露してくれました。午後には特別授業で、英語に奮闘しながら、両国の文化やお菓子を通じて異文化交流を楽しみました。

放課後には、書道、茶道、写真のクラブを体験。特に茶道では、社会部茶道班のお点を留学生生ナディアさんが丁寧に教えてくれました。とても素晴らしいことです。

子ども会委員長 上田 花葉
四月二十八日、神戸女学院にて春の子ども会が行われました。

子ども会委員 上田 花葉
午前中は外遊びで子どもたちと駆け回り、午後からは室内でのゲームを楽しみました。初めて会うお兄さんお姉さんに緊張した様子でしたが、帰るころには仲良く手をつないでいる姿も見られました。

この日のために、本部は半年かけて準備をしてきました。当日までに研修会を行いました。母子ホームや児童養護施設訪問に伺うなど、各施設に住む子どもたちのことを知る機会も与えられました。GLや当スタの高校生、グリーククラブ、先生方や職員さんなどたくさんの方々が子ども会に関わってくださいました。皆さんの協力のおかげで無事に終了することができました。ありがとうございました。

最後に、春の子ども会に参加している施設の子どものために生徒と教職員からの献金(九万二千九百円)を捧げていただきました。このことをこの場を借りてご報告、感謝申し上げます。

教育実習が終了

不安、緊張、楽しみ、様々な思いを抱き始めた教育実習はあっという間に終わりを迎えました。授業の準備、部活動の見学、礼拝での奨励など、実習期間は次から次へとやることに追われる日々でした。表には現れない先生の苦労と努力を感じました。しかし、そんな多忙な日々の中にも楽しさがありました。生徒と話すことの楽しさ、授業で



この教育実習で得たものは、

改善案が出されたり、賛成・反対の意見がたくさんあがるなど白熱した議論が繰り広げられました。これは生徒全員が投票する前に議案についてよく考えていた時間と言え、とてもよかったです。

また、今回の学友会総会では運営側にも新しい試みがありました。それは、iPadを使った投票です。今までは紙に書いての投票だったために開票作業にとても時間がかかり、スムーズに情報処理ができなかったことから今回の挑戦に至りました。初めは学友会役員がiPadで生徒人数分の投票を行い、エラーが起らないかどうかを確認して先生から承認を頂きました。私

たちもiPadを使うことに対し「本当に失敗しないか」と不安に感じていましたが、iPadを使っている投票はトラブルが発生することなく終了し、開票作業も無事に完了しました。今は役員全員がホッとしています。

第一号議案の結果は、賛成が八四九票・反対が一九三票・白票が七二票。第二号議案の結果は、賛成が九一三票・反対が四四六票・白票が五四四票、第三号議案の結果は、賛成が七〇三票・反対が三五六票・白票が五四四票でした。

以上により三つの議案全てが可決されました。皆さんのご理解と協力、ありがとうございました。

一年G組 王 厳毅 Logan Fulloda
一年I組 森澤 一充

ハワイ ラハイナールーナ高校との交流

私を参加させていただきありがとうございました。そして、関西学院高等部の留学生生活をささえてくれたみなさんありがとうございます。

六月十一日(月)の昼から夕方までラハイナールーナ高校の生徒、卒業生九名と引率者二名が高等部に来校された。かつて関西学院大学に留学生として来られたエッセルバイン先生のご縁で二年に一度、このような交流の時をもっている。今回の訪問は五、六、七時間目、主に一年生と三年生のプラクティカルイングリッシュの授業で行われた。様々な質問をお互いにし、有意義な時間を過ごした。六時間目は三年D組と一年F組でマシムラローワーチヤレンジに挑戦した。各チー

ムに固いスパゲティー二本、テープとヒモ一メートル、マシムラローワーチが配られ、一番高い塔を建てるのができたチームが勝ち。楽しい時間を過ごし、最後に集合写真を撮りお開きとなった。放課後はE.S.S部との交流会で小グループで自己紹介を行い、折り鶴に挑戦したり、日本とハワイのお菓子を比べながらSNSの交換などをした。また、一年I組にいるローガン君がハワイ島出身で、事前にハワイアン挨拶などをE.S.S部員に教えてくれたので、少し使ってみた。部員は彼ら



に「マハロ」(ありがとう)と伝えることができた。

各種委員会報告

管理委員会
こんにちは、管理委員会です。私たちは現在、三年生五名、二年生二名計七名で活動しています。主な活動内容は、生徒の風紀の乱れをチェックや不明図書検索・回収などです。最終週の水曜日にミーティングを行い、意見を交わしています。

ボランティア委員会
私たちはボランティア委員会は三年生三人、二年生六人、一年生五人の計十四人で活動しています。本年度は天使保育園、くるみ幼稚園、聖和保育センターの定期的な訪問に加え、夏休みの熊本訪問、コンタクトレンズの回収リサイクルを行う予定です。活動をして全校生徒に伝えることを大切に活動しています。

エコ委員会
エコ委員会は現在、二年生九人と三年生四人で活動しています。主な活動内容はペットボトルのキャップ回収運動や自分たちで作物を作り調理する自産自消などです。現在、跡継ぎがない状況なので一人でも多くの入会をお待ちしています。

運営委員会
私たち運営委員会は、三年生四名、二年生四名の計八名が、表彰班、新聞班、KGチャンネルの三つの班に分かれて活動しています。これらの基本の活動に加えて、総会運営などでの学友会本部の運営をサポートを行っています。

放送委員会
放送委員会は三年生四人、二年生四人の計八人で毎週木曜日の校内ラジオNEXTSTIMESの放送とアッセンブリー前のアナウンスを行っています。また新たに公式Twitterアカウントを開設しました！アカウント名は@NEXTSTIMES@kcgです。ぜひフォローしてください。

広報委員会
広報委員会は三年生八名、二年生四名、一年生二名で活動しています。活動内容は学友会公式HPの更新、文化祭パンフレットの作成です。学友会公式HPは毎週更新されますので、生徒・保護者の皆様もぜひご覧ください。

ラグビー部 県民大会 準優勝

新チーム結成後、県新人戦では三位、近畿大会に出場するも初戦敗退と悔しさも...

バスケットボール部 県総体 六位

男子はベスト8に終わった。二月の県新人戦後、キャプテン坂田、コート内だけでなく...

水泳部 水泳部県大会結果

- 男子 二〇〇M自由形 高 大輔五位、二〇〇M背泳ぎ 高 大輔二位、二〇〇M平泳ぎ 平井佑典五位...

- 女子 五〇〇M自由形 富部七菜三位、四〇〇M自由形 信川絢里六位、八〇〇M自由形 山形紗陽香八位...

た。そして、春の締めくくりでもある県民大会が行われ...

テニス部 県大会 五位

この春テニス部は兵庫県高等学校総合体育大会において...

バレーボール部

我々男子バレーボール部は、先日行われた兵庫県高等...

サッカー部 高校総体県予選 ベスト8

サッカー部は五月五日から行われた総体県予選において...



〇、続いて須磨学園に四対一、尼崎双星に四対〇、琴丘に五対〇と勝利しましたが...

が、最後までプレー、応援共に関心する部らしく上下一...

卓球部

我々卓球部は、六月八日から十日にかけて行われまし...

柔道部

我々、柔道部は新入部員三名、留学生一名が入部し総勢...

野球部

冬が明け、訪れた春。地区大会で宝塚東、尼崎北に勝...

六月二十四日から県リーグ後期日程が始まり...

ゴルフ部

僕たちゴルフ部は一年生五人、二年生十二人、三年生...

ダンス部

私たちダンス部は、新たに一年生十六名を迎え、計...

サービスマン

私たちは学友会直属の組織です。活動内容は主に、野...

キャプテン 小村 明日香 出場しません。「良い応援を...

グリーククラブ

第七十一代関西学院高等部グリーククラブは一年生十三...

美術部

三年生が卒業し、今年は一・二年生八名で活動してい...

数理学部

全国中学校Webコンテストにおいて、「パスカルの三角...

今年春には「2018」に大学生と高校生の混合チームとして参加し...

吹奏楽部

こんにちは、吹奏楽部です。我々は現在、一年生十八名、二年生十六名、三...

理科部

現在理科部は三年生の宇佐美部長を含めて総勢六名で活動...

社会部

今年春には「2018」に大学生と高校生の混合チームとして参加し...

今年春には「2018」に大学生と高校生の混合チームとして参加し...

コンピュータ部

コンピュータ部は、本年度は現時点で七名の一年生を迎...

吹奏楽部

こんにちは、吹奏楽部です。我々は現在、一年生十八名、二年生十六名、三...

理科部

現在理科部は三年生の宇佐美部長を含めて総勢六名で活動...

今年春には「2018」に大学生と高校生の混合チームとして参加し...

写真部

今年女子ばかり十三名が入部し、二十名を超えた。最...

吹奏楽部

今年春には「2018」に大学生と高校生の混合チームとして参加し...

社会部

今年春には「2018」に大学生と高校生の混合チームとして参加し...

今年春には「2018」に大学生と高校生の混合チームとして参加し...



一年生

校外ホームルーム

六月十二日・十三日、広島県福山市の「ツネイシシなみビレッジ」において、一年生の校外HRが行われました。「カッター訓練」は一日目はAとE組の五クラス十艇、二日目はFとI組の四クラス八艇の艇に男女が乗り込



み、ペアで仲良く一本のオーを漕ぎました。結果は一日目が一位D組、二日目が一位F組になりました。「倉敷散策」は昼食をとりながら倉敷の美観地区を歩きました。伝統の大原美術館をはじめ、倉敷アイビースクエアなど、見どころ、食べどころ、楽しみどころが満載でした。夜には合唱コンクールを行いました。学校での練習では正直心配だったクラスが大健闘し、審査員が頭を抱えるようなハイレベルの戦いになりました。結果は金賞D組、銀賞I組、銅賞A組でした。

二年生

校外ホームルーム

「イノベーション・プログラムって何やねん？」そんな疑問の声とともに二年生の校外ホームルームは始まりました。



六月十二日(火)ガレリアかめおかに到着した二年生一行は、すぐさま謎のマス目が「イノベーション」に取組んだ。また後半では別のタイプの生徒同士でグループを作り「向上問題パート2」に取り組み、前半との違いを実感してみた。どの部屋においても、楽しみながら一問一答と格闘する生徒達の姿が見受けられた。宿泊先は深山閣という温泉旅館。ゆったりとお湯につかったのち、夜のレクリエーションは、どのクラスもおおいに盛りあがっていた。

三年生

遠足



三年生は、六月十三日に各クラスで決めた行き先へ、遠足に行きました。行き先については、各クラスの遠足委員を中心に、クラスの親睦を図れるような遠足が生徒の手によって企画されました。またこの日のためにクラスお揃いのTシャツを作成したクラスもありました。四月にクラス替えが行われ、新しいクラス

SGHのとりくみ

SGHも今年度が指定最終年度となった。中核となるGLPでは、集大成として行動・実践を目標にしたプログラムを行ってきた。日本の難民受け入れをサポートする、食堂とのタイアッププログラムであるM4R (Meal for Refugees) は今年で三回目となった。生徒たちは、熟考して決めた鶏と野菜のスパイシー炒め丼とパンブディング



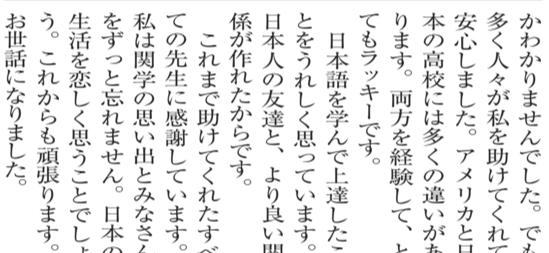
グのメニューを糸口に、日本の難民受け入れの現状を伝えるポスターへとつなげる仕組みに挑んだ。また、三年生のもうひとつのグループは、インドネシア・バリ島の高校生との交換留学という企画を行おうという授業に向けた企画を行うという授業に取り組んだ。単なる異文化交流を超え、教育やゴミなどの課題解決に向けて、寄付を募ったり、ポスターで啓発活動を行ったり、実践的な取り組みに挑んだ。

また、三年生の笠松さんを中心とするグループは、食育や地元農業の活性化というテーマに挑み、地元の農家にアプローチして西宮産の野菜を知ってもらうKGMALシェという企画を行った。西宮産の野菜を販売したほか、野菜を使ったスープを販売するなど、一定の成果を残し、今後へとつなげていく予定とのこと。SGHは、より主体的な学びへと舵を切ってきており、その典型といえる活動となった。

今回のバイブルキャンプの主題は、「Who am I?」独りである時の私・みんなのいる時の私」でした。新しいメンバーが多く、いつもとはまた違った雰囲気のカンパになったと思います。ワークショップでは、初参加の一年生が自分から積極的に発言している様子がとても印象に残っています。参加してくださった大学生の方もとてもラッキーです。



翌日の嵐山別荘散策も、明け方の曇り空が、午後に向けて好天へと変化し、多くの班が楽しんでいました。実りの多い充実した校外HRだった。



この記事がみなさんのところに届くころにはわたしはアメリカに戻っているでしょう。この一年を振り返ってみておもしろい。私が十一月前KGに来たとき、何を期待すればいいのかわかりませんでした。でも多くの人々が私を助けてくれて安心してました。アメリカと日本の高校には多くの違いがありますが、両方を経験して、とてもラッキーです。

今年お迎えした先生方

お尋ねした内容
① 高等部の「良いな」と思うところは？
② なぜ担当の教科に興味をもったのですか？
③ 三億円の宝くじに当たったら何に使いますか？
④ 教員になつていなかったらどんな仕事をしたいですか？
⑤ 高校生の時の自分に一言

上田 篤志先生(国語科)
① 部活動や委員会、学校行事など勉強以外の部分でも一生懸命になって取り組んでいる生徒が多いところです。
② 国語は文学だけでなく、様々な分野の論理的な文章を取り扱います。特に、高

山本 恵梨子先生(家庭科)
① 美しいものに溢れているところ。伝統、校舎、チャペルに響く讃美歌、みなさんの笑顔とあいさつ。
② 家庭科がもっとも成績の悪い科目だったからです。自業自得ですが、あまりのひどさにショックを受け、とことんまで極めてこの成績をいつか笑い話にしようとして生活科学(家庭科)の道に進みました。

福永 吉伸先生(読書科)
① 国際交流に理解があり、自由な環境でのびのびと個性を發揮できることです。
② 専門の研究領域が定まる前に幅広く自分の興味を持つことができて、文系、理系を問わず、学際的なテーマを取り上げ考察することが可能であることから読書に

羽田 真希先生(数学科)
① 自由でありつつも自立しているところ。
② 算数はそれほど得意ではなかったけれど、数学になって方程式を学んでから一気に理解できるようになりました。
③ 現実的に、家と車を買って残りは貯金。仕事は辞めません。
④ まったく想像できませんが、パン屋でサンドイッチを作るアルバイトでは職人技を身に付けました。単純作業は得意です。
⑤ なぜベストを尽くさないのか。

奈子原 彩花先生(体育科)
① 気持ちの良い挨拶が出来るところや前向きな生徒が多いところ！人との関わりは挨拶から始まります。ぜひ学校外でも挨拶してみてください。きつと視野が広がって見えますよ！
② 中学生の頃、ふと大阪体育大学に行きたいと思いましたが、体育大学の恐ろしさを知らず、ただネームバリューでかっこいい！と思ったことがきっかけです(笑)
③ ハワイ移住
④ 航空会社勤務(グランドスタッフ) 大学生の頃ANAへインターシップに行きました。もしくは沖縄でマリンスポーツのインストラクターをしていたかもしれません。
⑤ 本を読め！真面目に勉強しておけ！

上杉 佑子先生(社会科)
① 礼拝の時間に心を静められるところ。生徒が自由と自治を目指しているところ。
② 高校の時の世界史の授業が面白かったから。五十分間ずっとマシンガントークの先生のお話を聞いてメモして調べて、休む間もなかなかハードな授業でしたが、内容が濃くて楽しかったです。もともと歴史が好きでしたが、その授業がきっかけで更に好きになりました。大学では史学科に進みました。

山本 恵梨子先生(家庭科)の質問に答える様子。

福永 吉伸先生(読書科)の質問に答える様子。

上杉 佑子先生(社会科)の質問に答える様子。

山本 恵梨子先生(家庭科)の質問に答える様子。

上田 篤志先生(国語科)の質問に答える様子。

羽田 真希先生(数学科)の質問に答える様子。

福永 吉伸先生(読書科)の質問に答える様子。

山本 恵梨子先生(家庭科)の質問に答える様子。

上田 篤志先生(国語科)の質問に答える様子。

羽田 真希先生(数学科)の質問に答える様子。